

【令和2年度第3次補正予算（案） 2,993百万円】

＜参考：令和2年度補正予算3,000百万円（国立公園等への誘客・ワーケーションの推進と収束までの間の地域の雇用の維持・確保）＞

国立公園等での誘客やワーケーションの推進によりライフスタイル変革と地域活性化を図ります。

1. 事業目的

- ①国立公園等で「遊び、働く」という健康でサステナブルなライフスタイルを推進し、地方創生に貢献。
- ②感染症対策を徹底した上で、国立公園、国民保養温泉地等において魅力的な冬期・春期のツアー等やワーケーションを実施することで、新型コロナウイルス感染拡大により減退した公園利用の反転攻勢と地域経済の再活性を図る。

2. 事業内容

新型コロナウイルスにより、国立・国定公園及び国民保養温泉地では、観光事業者等に甚大な影響が出てる。一方、自然体験、サステナビリティ、健康等への関心が高まっており、国立公園等は大きなポテンシャルを有している。

- ①国立・国定公園での滞在型ツアーの推進
地域一体となった自然体験型のツアー等の企画・実施・準備、海岸清掃・修景伐採等の環境整備、感染症対策、e-bike利用等による脱炭素化等を支援。
- ②国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進
地域一体となったワーケーションの企画・実施、Wi-Fi等の環境整備、パーテーションやCO2濃度センサー設置等の感染症対策、e-bike利用等による脱炭素化等を支援。
- ③国内外向けプロモーション
国立公園等の魅力を訴求するプロモーション等を実施。

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業（定額、1/2、2/3）、請負事業
- 補助対象 地方公共団体・民間事業者（山小屋等）・団体・協議会等
- 実施期間 令和2年度

4. 事業イメージ



・自然体験、サステナビリティ、健康等への関心が高まっており、それを踏まえたツアー等の造成を支援



・感染症対策を徹底した温泉宿等のワークスペースで健康かつクリエイティブに働けるワーケーションを推進



・各地域で滞在型ツアーやワーケーションを推進し、国立公園等の魅力とともにプロモーション

令和2年度(補正予算)国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進事業の採択状況(知床国立公園)

	事業者名	事業名称
A 国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業		
1	知床羅臼 NOASOBI・MANABI 推進協議会	知床羅臼 NOASOBI・MANABI 滞在型ツアー推進事業
2	知床国立公園カムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会	知床カーフリープロジェクト2021
3	知床アウトドアフィルムフェス実行委員会	知床ホロボツ・サステナブル推進事業
4	羅臼町	熊越の滝遊歩道を拠点とした誘客のための環境整備
5	羅臼町	ルサフィールドハウスから発信する陸と海のシレココ・プロジェクト
6	株式会社 ピッキオ	知床国立公園を舞台とする、SDGs を取り入れた学校団体向け教育プログラム開発
B. 国立・国定公園、温泉地でのワーケーション推進事業 (国立・国定公園及び国民保養温泉地のキャンプ場、旅館、ホテル等でのワーケーションの実施に係る事業)		
7	株式会社知床グランドホテル	知床ウトロエリアにおけるワーケーション推進事業
8	知床羅臼 NOASOBI・MANABI 推進協議会	知床国立公園等を活用した「知床羅臼 NOASOBI・MANABI プロジェクト(ワーケーション)」